**郡山市下水道工事指定店継続指定申請の受付について**

１　申請の受付

　(１)　日　時 各指定店に指定する日時

　(２)　場　所 郡山市上下水道局営業課排水施設係（電話024-932-7666）

（郡山市豊田町１番４号　上下水道局１階）

２　資格要件

　　指定を受けようとする者は、次の各号に掲げる要件のいずれにも適合する者でなければならない。（郡山市下水道条例第21条の５）

　(１)　市内に営業所を有すること。

(２)　専属の下水道排水設備工事責任技術者（公益財団法人福島県下水道公社が排水設備工事の設計及び施工に関して技能を有する者として認め、登録した者をいう。）を

１人以上有すること。

(３)　排水設備工事に必要な設備及び器材を備え、従業員を常置していること。

３　申請書類

　　指定を受けようとする者は、次に掲げる書類を提出すること。（郡山市下水道条例施行規程第32条）

　(１)　郡山市下水道工事指定店（新規・継続）申請書（第26号様式）

　(２)　履歴書及び工事経歴書

　(３)　住民票（法人にあっては、登記事項証明書）原本

　(４)　郡山市発行の納税証明書原本

　(５)　所有(リース)機器調書(器材等の写真も含む)

　　　　※リース器材の場合は、「契約書(写し)等」を添付

　(６)　下水道排水設備工事責任技術者証の写し（下水道排水設備工事責任技術者証の取得予定者にあっては、下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験合格証の写し）

　(７)　下水道配管従事者名簿（従業員名簿）及び雇用証明

(８)　郡山市下水道工事指定店認可証の写し

　(９)　営業所の写真(店の看板等も撮影、また撮影日(直近３か月以内)も入れてください)

　(10)　営業所付近の略図及び資材置場付近の略図(営業所の所在地と異なる場合)

４　手数料

　　指定を受けようとする者は、申請時に、１件につき１５,０００円の手数料を納付すること。（郡山市下水道条例第21条の８）

　　納付された手数料は、返還しません。(郡山市下水道条例第21条の８)

**目次**

１　申請書類提出上の注意事項（継続申請用）

２　継続指定申請書類一式

３　継続指定申請書類記入例

４　よくある質問

５　排水設備工事に必要な設備及び器材の一例

**１　申請書類提出上の注意事項（継続申請用）**

申請書(第26号様式)に添付する書類

１　履歴書及び工事経歴書

２　住民票（法人にあっては、登記事項証明書）原本

３　郡山市発行の納税証明書原本

４　工事に必要な設備及び器材を有していることを証する書類(器材等の写真も含む)

５　福島県下水道排水設備工事責任技術者証の写し（表）

６　下水道配管従事者名簿（従業員名簿）及び雇用証明

７　郡山市下水道工事指定店認可証の写し

８　営業所の写真(店の看板等も撮影、また撮影日(直近３か月以内)も入れてください)

９　営業所付近の略図及び資材置場付近の略図(営業所の所在地と異なる場合)

 添付書類の注意事項

１　法人の場合、履歴書は郡山市内の営業所(支店)の長の履歴を記入してください。

代表者が兼任している場合は代表者の履歴を記入してください。

２　住民票（法人にあっては、登記事項証明書）は原本を提出してください。

法人の場合、支店等の移転、代表者の変更、代表者住所の異動があった場合には、登記事項を変更してから提出してください（※履歴書と登記事項証明書の内容に矛盾がないよう確認をお願いします）。また、登記事項証明書では履歴書の「現住所」が確認できない場合、法人であっても履歴書の「現住所」が確認できる住民票の写しを添付してください。

３　納税証明書（原本）は直近１年度分を提出してください。

・法人の場合：法人市民税、固定資産税、軽自動車税（課税されていなければ不要）

・個人事業主の場合：個人市県民税、固定資産税、国民健康保険税(代表者の納税証明書）

４　所有機器調書は調査、測量、土工及び配管器材等を記入(器材等の写真も含む)してください。

※リース器材の場合は、「契約書(写し)等」を添付すること。

５　福島県下水道排水設備責任技術者証の写しは記載内容が確認できるものを添付してください。また、福島県下水道排水設備責任技術者証の期限が切れているものは無効ですので、登録期限内のものを添付してください。

６　雇用証明（社会保険、雇用保険等のいずれか一種類で可）の写し（公的機関発行）は下水道配管従事者（従業員）名簿に記入してある全員分を添付してください。

・法人で社会保険の場合：被保険者資格取得等確認通知書、被保険者標準報酬決定通知書等のいずれか

・個人事業主の場合：源泉徴収票、確定申告の専従者控除等のいずれか

※上記の公的機関発行の書類がない場合は代表者発行の給与支払台帳の写しを添付

７　営業所の写真は、事業者名の看板の取付位置が確認できるもの、また、文字が読み取れるように撮影したもの(直近３か月以内)を添付してください。

**２　継続指定申請書類一式**

第２６号様式（第３０条、第３２条関係）

郡山市下水道工事指定店（新規・継続）申請書

令和　　年　　月　　日

郡山市上下水道事業管理者

住所又は所在地

申請者 氏名又は名称及

び代表者の氏名

電　話　番　号

ファックス番号

郡山市下水道工事指定店として指定を受けたいので申請します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請区分 | □新規　　　□継続 | 添付書類　１　履歴書及び工事経歴書　２　住民票（法人にあっては、登記事項証明書）原本　３　郡山市発行の納税証明書　４　工事に必要な設備及び器材を有していることを証する書類　５　下水道排水設備工事責任技術者証の写し（下水道排水設備工事責任技術者証の取得予定者にあっては、下水道排水設備工事責任技術者資格認定試験合格証の写し）　６　下水道配管従事者名簿（従業員名簿）及び雇用証明　７　郡山市下水道工事指定店認可証の写し |
| 認可番号 | 第　　　　　　　号 |
| 創業年月日 | 年　　月　　日 |
| 営業種目 |  |
| 主として請負う建設工事の種類 |  |
| 資本金 |  |
| 建設業法第３条の規定による登録の有無 |  |
| 郡山市指定給水装置工事事業者としての指定の有無 |  |
| （摘要） |

備考

１　「申請区分」欄の該当する箇所（□印）にレ印を記入すること。

２　「認可番号」欄には、継続の申請の場合に記入すること。

**履　歴　書**

写　真

縦4.5cm × 横 3.5cm

申請日3か月以内撮影

上半身脱帽

はがれないよう、

のり付けすること。

令和 　　年 　　月 　　日

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 　　　年　　　月　　　日生（満　　　歳） |
| 現住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　🕿 |
| E-mail |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年号 | 年 | 月 | 学歴　職歴　賞罰等 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

**所有(リース)機器調書**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種　　　　類 | 能　　　　力 | 数　　量 | 所有区分 |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |
|  |  |  | 所　有リース |

**所有機器写真**

**下水道排水設備工事責任技術者証の写し**

技術者証（表）

技術者証（表）

技術者証（表）

**雇用証明の写し**

**営業所の写真**

全　　景　　(撮影日　　　年　　月　　日)

正面近景　　(撮影日　　　年　　月　　日)

営業所名等の看板　　(撮影日　　年　　月　　日)

認可標示板　　(撮影日　　年　　月　　日)

事務所内部(事務機器等設置)

(撮影日　　年　　月　　日)

**営業所付近の略図**



**資材置場付近の略図**（営業所の所在地と異なる場合）

****

**工事経歴書**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発　注　者　名 | 工　　事　　名 | 工　事　場　所 | 請　負　額 | 着工年月 | 完了年月 | 公・民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |

**下水道配管従事者名簿（従業員名簿）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　　　　名 | 生　年　月　日 | 住　　　　　　　　　所 | 性　別 | 入　社　日 | 経 験 年 数 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

**３　継続指定申請書類記入例**

第２６号様式（第３０条、第３２条関係）

日付は記入しないでください。

郡山市下水道工事指定店（新規・継続）申請書

令和　　年　　月　　日

郡山市上下水道事業管理者

記名

住所又は所在地　　郡山市○○○一丁目○番○号

申請者　氏名又は名称及　　下水道サービス株式会社

び代表者の氏名　　代表取締役　下水道　太郎

電　話　番　号　　０２４－９○○－○○○○

　　　　　　　　　　　　　　ファックス番号　　０２４－９○○－○○○○

郡山市下水道工事指定店として指定を受けたいので申請します。

✔

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請区分 | □新規　　　□継続 | 添付書類　１　履歴書及び工事経歴書　２　住民票（法人にあっては、登記事項証明書）　３　郡山市発行の納税証明書　４　工事に必要な設備及び器材を有していることを証する書類　５　下水道排水設備工事責任技術者証の写し　６　下水道配管従事者名簿（従業員名簿）及び雇用証明　７　郡山市下水道工事指定店認可証の写し |
| 認可番号 | 第　○○○　号 |
| 創業年月日 | 　○年　○月　○日 |
| 営業種目 | 　　　建設業 |
| 主として請負う建設工事の種類 | 土木、土工、給水事業 |
| 資本金 | 　　　○○○万円 |
| 建設業法第３条の規定による登録の有無 | 有　（第○○○○○号）福島県知事許可（般－３） |
| 郡山市指定給水装置工事事業者としての指定の有無 | 有　（認可番号○○○号） |
| （摘要） |

備考

１　「申請区分」欄の該当する箇所（□印）にレ印を記入すること。

２　「認可番号」欄には、継続の申請の場合に記入すること。

**履　歴　書**

**郡山市内の営業所(支店)の長(代表者兼任の場合は代表者）の履歴を記入してください。**

写　真

縦4.5cm × 横 3.5cm

申請日3か月以内撮影

上半身脱帽

はがれないよう、

のり付けすること。

令和 ○○年 ○○月 ○○日

|  |
| --- |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 昭和　○○年　　○○月　　○○日生（満　○○歳） |
| 現住所営業所(支店)長の住所を記入します。個人の場合は、代表者の住民票の写しと同じ住所を、法人の代表者が兼任の場合は、登記事項証明書の代表取締役の住所と同じ住所を記入します。　　　　　郡山市○○○三丁目○番○号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　🕿　０２４－９○○－○○○○ |
| E-mail 〇〇〇＠〇〇.〇〇.jp |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年号 | 年 | 月 | 学歴　職歴　賞罰等 |
|  |  |  | 学歴 |
| 昭和 | ○○ | ○○ | ○○県立下水道高等学校○○科 卒業 |
| 昭和 | ○○ | ○○ | 私立下水道大学○○学部○○学科 卒業 |
|  |  |  | 職歴 |
| 昭和 | ○○ | ○○ | 下水道排水設備株式会社 入社 |
| 令和 | ○○ | ○○ | 同社 退社 |
| 令和 | ○○ | ○○ | 下水道サービス株式会社 設立　代表取締役に就任 |
|  |  |  | 現在に至る |
|  |  |  | 賞罰等 |
|  |  |  | なし |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

**所有(リース)機器調書**

別紙の設備及び器材の一例を参考に記入してください。

(機器等の写真も添付してください)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種　　　　類 | 能　　　　力 | 数量 | 所有区分 |
| ダンプカー（運搬車両） | 最大積載重量　１０ｔ | ２ | 所　有リース |
| 小型トラック（運搬車両） | 最大積載重量　２ｔ | １ | 所　有リース |
| ミニバックホウ | 掘削能力　０．１㎥ | １ | 所　有リース |
| コンクリートカッター | 切断深さ １００Ｈ | １ | 所　有リース |
| ハンドカッター | 切断深さ １０２Ｈ | ２ | 所　有リース |
| ランマー（転圧機） | 定格出力(KW/PS)1.6/2.2 | １ | 所　有リース |
| オートレベル（水準器） | 名称：○○－△△△型番：○○○○○○○1km往復標準偏差±0.7ｍｍ倍率３２倍 | ２ | 所　有リース |
| 回転レーザーレベル（水準器）（本体） | 名称：○○－△△△型番：○○○○○○○○水平精度：±10″測定範囲：８００ｍ | 1 | 所　有リース |
| 回転レーザーレベル（水準器）（受光部） | 名称：○○－△△△型番：○○○○○○○受光精度：±1.0ｍｍ | 1 | 所　有リース |
| 排水ポンプ | 口径50mm吐出量0.12㎥/min | １ | 所　有リース |
| 発電機 | ２.４ＫＶＡ | 1 | 所　有リース |
|  | リース器材は、「契約書(写し)等」を添付 |  |  |

**所有機器写真**

写真が調書のどの機器にあたるか、わかるようにしてください。

様式は任意です。

****

ダンプカー

２台

※現場使用中につき、調書と

数量が異なります。

****

小型トラック

１台

**下水道排水設備工事責任技術者証の写し**

ミニバックホウ

１台

　　　　　　　　○○○○○○○○○○

　　　　　　　　○○○○○○○

　　　　　　　　○○○○○○○

　　　　　　　　○○○○○○○

福島県下水道排水設備工事責任技術者証

技術者証（表）

技術者証（表）

技術者証（表）

**雇用証明の写し**

例：給与支払台帳

　　（直近３か月分）等

例：保険証　等

**営業所の写真**

全　景　　(撮影日　　年　　月　　日)

正面近景　　(撮影日　　年　　月　　日)

営業所名等の看板　(撮影日　　年　　月　　日)

認可標示板　(撮影日　　年　　月　　日)

事務所内部(事務機器等設置)

(撮影日　　年　 　月　　日)

**営業所付近の略図**

**資材置場付近の略図**（営業所の所在地と異なる場合）



**営業所の所在地と異なる場合に添付してください)**

**工事経歴書**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発　注　者　名 | 工　　事　　名 | 工　事　場　所 | 請　負　額 | 着工年月 | 完了年月 | 公・民 |
| 郡山　太郎 | 給水管工事 | 久留米二丁目地内 | ６５０,０００ | ○年○月 | ○年○月 | 公 |  |
| 郡山市 | 歩道補修工事 | 芳賀二丁目地内 | ２１０,０００ | ○年○月 | ○年○月 |  | 民 |
| 郡山市 | 水路工事 | 横塚二丁目地内 | ２,５００,０００ | ○年○月 | ○年○月 |  | 民 |
| 新しいものから１年以内の市内の工事を記入してください　また、市内でまったく工事実績がない場合は、１行目に「市内において工事実績なし」と記入してください。 |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |
|  |  |  |  |  |  | 公 | 民 |

**下水道配管従事者名簿（従業員名簿）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　　　　名 | 生　年　月　日 | 住　　　　　　　　　所 | 性　別 | 入　社　日 | 経 験 年 数 |
| 責任技術者郡山　次郎 | 昭和○○年○月○日 | 郡山市～ | 男 | 平成○年○月○日 | ○○年○月 |
| 責任技術者安積　一郎 | 昭和○○年○月○日 | 郡山市～ | 男 | 平成○年○月○日 | ○○年○月 |
| 配管従事者日出山　五郎 | 昭和○○年○月○日 | 郡山市～ | 男 | 平成○年○月○日 | ○○年○月 |
| 配管従事者台新　一 | 昭和○○年○月○日 | 郡山市～ | 男 | 平成○年○月○日 | ○○年○月 |
| 配管従事者横塚　力 | 昭和○○年○月○日 | 郡山市～ | 男 | 平成○年○月○日 | ○○年○月 |
| 事務員富久山　花子 | 昭和○○年○月○日 | 郡山市～ | 女 | 平成○年○月○日 | ○○年○月 |
|  | 取締役等を除く従業員全員分を記入します（ただし、取締役が責任技術者である場合は記入が必要です）。人数が非常に多い場合（３枚以上となる場合）は排水設備担当者のみを記入し、常駐事務員を最低１名以上記入してください。 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

**４　よくある質問**

継続指定申請時によくある質問については次のとおりです。

**Ｑ１**　申請書を提出し、手数料を納付すれば、すぐに指定を受けられるのか。

**Ａ１**　申請書提出及び手数料納付の後に実態調査を行います。場合によっては改善・是正措置をお願いすることがあります。書類上、実態上の課題をすべて解決した上ではじめて指定となります。

**Ｑ２**　指定を受けるといつまで有効なのか。

**Ａ２**　有効期間は５年間です。今回指定を受けると令和８年４月１日から令和１３年３月３１日まで有効です。指定の有効期間内でなければ市内で排水設備工事は行えません。

**Ｑ３**　事務所は自宅の一室としたいが、指定店として可能か。

**Ａ３**　個人で事業を始めようとする場合、自宅の一室を事務所とするのは可能ですが、第三者が見てすぐに事業者名が分かるように、入り口を自宅と別にする等、玄関先などに指定店として申請する名称を記した看板などを掲げてください。また、室内に事務機器や通信機器などを備えておくことが必要となります。

**Ｑ４**　「排水設備工事に必要な設備及び器材」で、主要な器材を所有していないが、どのように申請すればよいか。

**Ａ４**　主要な機材のリース対応を認めています。リース器材については、別紙

の「５　排水設備工事に必要な設備及び器材の一例」を参考に所有(リー

ス)機器調書を作成し、契約書(写)や直近の利用状況が分かる領収書（写）

等と一緒に提出してください。

　**Ｑ５**　１年以内に市内での工事実績がない。申請は可能か。

　**Ａ５**　申請可能です。工事経歴書に「市内において工事経歴なし」と記入してください。

**Ｑ６**　本社が郡山市外において登記されているため、郡山市の法人市民税などは課税されていないが、納税証明は必要か。

**Ａ６**　郡山市以外の市町村で納税している場合、参考として納税状況を確認させていただきますので、当該市町村発行の納税証明書（原本）を提出してください。

**Ｑ７**　個人で事業を行っており、事務員として家族を従事させているが、雇用証明はどうすればよいか。

**Ａ７**　指定店の資格要件の１つである、営業所に常置している従業員（事務員）の存在を確認するためにも雇用関係の証明が必要となります。代表者名で発行した給与支払台帳などの写し（直近３か月分程度）の提出をお願いします。

**Ｑ８**　実態調査（事務所訪問）とは何か。また、事前に連絡をもらえるのか。

**Ａ８**　郡山市下水道条例第２１条の５により、下水道工事指定店の資格要件の１つに「従業員を常置していること」が求められます。普段のありのままの状態を確認しますので、特別の準備は必要ありませんが、原則として事前連絡せずに訪問します。その際、事務所にいらっしゃる方に、申請内容や業務内容などについて簡単な質問をします。また、所有機器調書に基づき所有機器を確認しますが、現場に持ち出し中であるものについては、訪問時に事務所になくとも結構です。

**Ｑ９**　手数料納付はいつどこで行うのか。

**Ａ９**　窓口にて申請書の内容に不備のないことが認められた際に納付書を発行します。郡山市指定・指定代理・収納代理金融機関（納付書裏面に記載）のいずれかに納付書を持参し、納付してください(納付書発行後、営業課脇のお客様サービスセンター窓口で納付可)。なお、金融機関窓口の営業時間は午後３時までとなっているため、ご注意ください。

納付後、出納印入りの領収書を営業課窓口に持参してください。

なお、納付された手数料は、返還することは出来ません。

**５　排水設備工事に必要な設備及び器材の一例**

郡山市下水道工事指定店の資格要件として規定されている排水設備工事に必要な設備及び器材の一例は以下のとおりです。

|  |  |
| --- | --- |
| 分類 | 設備及び器材の名称 |
| 調査・測量 | オートレベル | 回転レーザーレベル（本体部、受光部） | スタッフ(標尺) | 巻尺 |
| 土工・配管 | スコップ | つるはし | 転圧機(ランマー,タンパー) | 木だこ(突固め) |
| Co(As)カッター | Coブレーカー | バックホウ | ホールソウ |
| 水平器 |  |  |  |
| その他 | 運搬用車両 | ハンマー | のこぎり | バール |
| 桝開閉工具 | 排水管清掃機 |  |  |

※Ｃｏ：コンクリート、Ａｓ：アスファルト

※オートレベル・回転レーザーレベル（水準器）は、少なくとも3年毎に校正された機器を使用すること。

郡山市下水道条例（抜粋）

(工事指定店の指定)

第21条の5　上下水道事業管理者は、前条の規定により申請した者が次の各号のいずれにも適合していると認めるときは、工事指定店の指定をするものとする。

(1)　市内に営業所を有すること。

(2)　専属の下水道排水設備工事責任技術者（公益財団法人福島県下水道公社が排水設備工事の設計及び施工に関して技能を有する者として認め、登録した者をいう。）を1人以上有すること。

(3)　**排水設備工事に必要な設備及び器材を備え**、従業員を常置していること。

**問合せ先**

郡山市上下水道局営業課排水施設係

電話　０２４‐９３２‐７６６６